

# チャレンジ大会時の新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

2020年10月  
一般社団法人 日本ゴールボール協会  
技術部・医療チーム

新型コロナウイルスは、咳やくしゃみ、大声を出すことにより飛散したウイルスの侵入による飛沫および接触でヒト～ヒト感染すると考えられる。潜伏期間は約5日で最長14日程度。発熱及び咳・呼吸困難を伴う症状がみられるが無症状の感染者も見られる。また、新型コロナウイルスは人体の外でもかなり長期間生存する（ステンレス表面24時間・プラスチック表面2～3日・空気中浮遊する微粒子中3時間など）。

集団発生のリスクとして①換気の悪い密閉空間、②人が密集、③近距離での会話や発声が行われる密接、この3条件が同時に重なった場合に、より多くのヒトが感染していると考えられる（クラスターの発生）。

## ＜会場に入る際の注意＞ 入り口付近にアルコール消毒設置

1. 会場へはソーシャルディスタンスを守って一人ずつ入場してもらい、マスク着用を義務付けしアルコール消毒薬にて手指消毒をする。
2. 体温をチェックする（接触型体温計はその都度アルコール消毒を行う）。
3. 体調確認表の提出。
4. 筆記用具は使用させず、運営側で確認。

## ＜試合中の注意＞ ベンチエリアにアルコール消毒設置

1. 飲み物やタオルなどは個人用に使用（他人に触れさせない）。
2. アイシェードは使用前後でアルコール消毒を行う（肌とアイシェードの間にはさむアイマスクなどの使用も可）。
3. アイシェード・サポータ・ビブスは、終始、その選手のみが使用する。
4. 試合中、マスクは装着しなくて良い。ただし監督・コーチ・審判はマスク装着が必要。
5. 試合前後での選手の接触は行わない（円陣を組むとき手を握らないなど）。
6. 審判はホイッスルではなく電子ブザー使用。
7. 試合中、接触又は感染行為の恐れがあると認められた際は、審判は試合を中断する。
8. 各試合終了時にアルコール消毒。（運営側が行う）  
ボール・ゴールポスト・オリエンテーションエリア（拭き方にも注意が必要。同じ方向にのみ拭き取り往復しない）。

## ＜その他の注意＞

1. 会場は常に換気をよくしておくこと。（窓を開けるだけでなく、できたら扇風機で風邪を一定方向に導く）
2. 会場内はソーシャルディスタンスを徹底する。人との距離を1～2メートルは必ず左右・前後で確保する。
3. 着替え時は密集にならないように必ずマスク着用の上、離れて少人数で行う。
4. 体調不良になった場合は、必ず運営側に連絡すること。